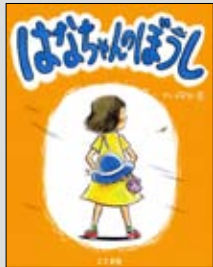


新刊案内



「はなちゃんのぼうし」

丹治匠



「希望の牧場」

森絵都／さく
吉田尚令／え

大人の女はどう働くか? -- ロイス・P・フランケル
 京大芸人式日本史 ----- 菅広文
 リスクを取らないリスク ----- 堀古英司
 外来魚のレシピ 捕って、さばいて、食ってみた -- 平坂寛

大人のパンケーキ&フレンチトースト --- 木村幸子
 英語教育論争から考える ----- 鳥飼玖美子
 名もなき山へ ----- 深田久弥
 低地 ----- ジュンパ・ラヒリ



「マラソン」

「外」よりも「内」を優先する傾向が強まったと指摘します。

たかぎなおこ『まんぷくローカルマラソン旅』。野菜を収穫し、みんなでカレーを作る「たんのカレーライスマラソン(北海道)や夕焼けと暗闇の中を走る「伊平屋ムーンライトマラソン(沖縄)」など、日本全国のユニークな8つのマラソン大会に参加した模様を綴ったコミック・エッセイです。マラソン大会だけでなく、前後の旅やグルメも楽しめます。

NHKスペシャル取材班『42・195 kmの科学』。オリンピックをはじめ、世界中のマラソン競技で圧倒的な強さを見せる、ケニアやエチオピアなどの東アフリカのランナーたち。その強さの秘密を明らかにしたNHKスペシャル「ミラクルボディー」の書籍化です。急激に進むマラソンの高速化に科学的に迫ります。

今、日本は空前のマラソンブームだと言われています。最近のマラソン大会の中には、抽選倍率が高くなるものもあり、走りたくても走れないランナーが続出しています。そんな「マラソン」をそれぞれ違った視点から捉えた本を紹介します。

武田薫『マラソンと日本人』。走るスポーツの中でも、マラソンと駅伝は日本で人気の高いスポーツです。ただ、マラソンではオリンピックなどの国際大会が目標となるのに対し、駅伝は国内での大会で完結しています。1992年のオリンピック・バルセロナ大会を最後に、日本の男子マラソンは低迷期に入ります。著者は、その背景には箱根駅伝に代表される駅伝の隆盛があると、選手が「外」と指摘します。

2月の休館日

2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)
 27日(金)

開館時間

火～金曜日 午前10時～午後7時
 土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時
 図書館は無料でご利用いただけます。

お知らせ

「25歳をすぎた絵本」

図書館では1階カウンター前に「25歳をすぎた絵本」コーナーを開設しました。出版から25年以上経っても読まれ続けるロングセラー絵本を約250冊集めました。子どもの頃お気に入りだった絵本を、今度はお子さんに読んであげてください。